

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 日本曹達株式会社

コード番号 4041 URL <http://www.nippon-soda.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 杵渕 裕

問合せ先責任者 (役職名) 総務・法務グループリーダー

(氏名) 青木 啓値

TEL 03-3245-6053

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	67,050	7.4	2,548	△7.8	5,054	18.6	3,774	32.6
26年3月期第2四半期	62,405	11.0	2,762	112.8	4,262	54.1	2,845	42.1

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 7,156百万円 (31.9%) 26年3月期第2四半期 5,427百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	24.83	—
26年3月期第2四半期	18.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	200,592	112,904	53.2
26年3月期	204,297	108,224	50.0

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 106,789百万円 26年3月期 102,225百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	147,000	4.5	6,700	4.7	10,700	9.9	8,300	42.3	54.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	154,317,630 株	26年3月期	154,317,630 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	2,294,380 株	26年3月期	2,289,384 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	152,025,738 株	26年3月期2Q	152,102,416 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10
4. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げによる駆け込み需要の反動も落ち着きを見せはじめ、一層の円安により回復基調で推移いたしました。

化学業界におきましては、原燃料価格の上昇等や海外の景気回復の遅れにより、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のもと当社グループにおきましては、製品の拡販等の積極的な営業活動を推進してまいりました。また国内景気が緩やかながら回復してきていることもあり各種工業薬品を中心に堅調に推移するとともに、海外向け販売も好調に推移し、当第2四半期連結累計期間の売上高は670億5千万円（前年同期比7.4%増）となりましたが、営業利益は、原燃料の高騰や一部製品における消費税率引き上げによる駆け込み需要の反動等により、25億4千8百万円（前年同期比7.8%減）となりました。

経常利益は、米国の飼料添加物製造会社の業績が好調に推移したこと等により持分法投資利益が増加し、50億5千4百万円（前年同期比18.6%増）となり、四半期純利益は37億7千4百万円（前年同期比32.6%増）となりました。

なお、第2四半期会計期間（7月～9月）は、農薬の需要が年間を通して最も少ない時期に当たるとともに、当社グループにおいて多くの製造設備の定期修理が重なる等の季節的要因による影響を受け、他の四半期に比べ収益は低水準となる傾向があります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[化学品事業]

化学品事業におきましては、国内景気の改善に伴う製造業の稼働持ち直しにより、工業薬品及び化成品の販売が堅調に推移いたしました。また、電子部品や半導体の需要が堅調であったことにより、IT産業向け材料の販売が堅調に推移いたしました。

その一方で、一部の医薬品原料につきましては、医薬品業界における薬価改定や後発品との競争激化の影響を受け、販売が減少いたしました。また、工業用殺菌剤につきましては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、住宅関連用途向けの販売が減少いたしました。

この結果、当累計期間の[化学品事業]の売上高は209億8千8百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は12億4千8百万円（前年同期比11.9%減）となりました。

<工業薬品>

カセイソーダ等が堅調に推移し、増収となりました。

<化成品>

硫黄誘導体等が堅調に推移し、増収となりました。

<機能材料>

樹脂添加剤「NISSO-PB」及び各種電子材料用樹脂が堅調に推移したものの、一部の受託化成品が減少したことにより、前年同期並みとなりました。

<エコケア製品>

水処理剤「日曹ハイクロン」の輸出向けが堅調に推移したものの、重金属固定剤「ハイジオン」等の減少により、減収となりました。

<医薬品・医薬中間体>

医薬品原料「日曹DAMN」等が減少し、減収となりました。

<工業用殺菌剤>

住宅関連用途での防腐剤、防カビ剤及び防虫剤が減少し、減収となりました。

[農業化学品事業]

農業化学品事業におきましては、人口増加や新興国の経済発展による食料需要の増加に伴い、世界の農薬需要が引き続き堅調に推移したことにより、殺菌剤、殺虫剤・殺ダニ剤及び除草剤の輸出向け販売が伸長いたしました（海外販売比率61.8%）。

その一方で、国内向け販売につきましては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、販売が減少いたしました。

この結果、当累計期間の[農業化学品事業]の売上高は185億4千4百万円（前年同期比19.4%増）、営業利益は3億7千万円（前年同期比40.4%増）となりました。

<殺菌剤>

「トップジンM」の輸出向けが伸長し、増収となりました。

<殺虫剤・殺ダニ剤>

「モスピラン」の輸出向けが伸長し、増収となりました。

<除草剤>

「ホーネスト」の輸出向け及び新除草剤「アルファード」が堅調に推移し、増収となりました。

[商社事業]

各種有機薬品等が伸長したものの、ウレタン原料及び各種無機薬品等の減少により、当累計期間の[商社事業]の売上高は170億4千6百万円(前年同期並み)、営業利益は6千9百万円(前年同期比31.4%減)となりました。

[運輸倉庫事業]

運送業及び倉庫業が堅調に推移したことにより、当累計期間の[運輸倉庫事業]の売上高は19億7千3百万円(前年同期比5.3%増)、営業利益は2億7千7百万円(前年同期比63.1%増)となりました。

[建設事業]

プラント建設工事が堅調に推移したことにより、当累計期間の[建設事業]の売上高は52億8千万円(前年同期比3.3%増)、営業利益は5億7千9百万円(前年同期比16.5%増)となりました。

[その他]

当累計期間の[その他]の売上高は32億1千6百万円(前年同期比2.7%増)、営業利益は9千6百万円(前年同期比17.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ37億4百万円減少し、2,005億9千2百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ83億8千4百万円減少し、876億8千8百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ46億7千9百万円増加し、1,129億4百万円となりました。この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は53.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ5億4千万円増加し、129億4千3百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は29億1千9百万円(前年同期比56.3%減)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益49億9千1百万円(非キャッシュ項目である持分法による投資利益20億9千6百万円を含む)に加え、売上債権の減少83億9千9百万円や仕入債務の減少34億7千7百万円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は8億9千1百万円(前年同期比81.2%減)となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出28億4千2百万円や投資有価証券の償還による収入20億円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は15億7千6百万円(前年同期比19.3%増)となりました。これは主として、配当金の支払い12億1千1百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、製品の拡販と経費の削減等に取組むとともに、新中期経営計画の完遂に向け、重点施策である「成長ドライバーの拡充」「事業基盤の強化及び再構築」「グループ総合力の向上」の3点を全力で実行してまいります。通期の連結業績につきましては、前回(平成26年5月13日)発表予想を以下の通りに修正いたしております。

なお、下半期の為替レートは1\$=105円を想定しております。

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想(A)	146,000	6,900	9,300	6,700	44	06
今回修正予想(B)	147,000	6,700	10,700	8,300	54	60
増減額(B-A)	1,000	△200	1,400	1,600	—	—
増減率(%)	0.7	△2.9	15.1	23.9	—	—
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	140,649	6,399	9,740	5,833	38	36

<修正の理由>

平成27年3月期通期の業績予想につきましては、為替が円安基調であるとともに、持分法適用会社の業績が好調に推移していること等により、前回発表の数値を修正いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が1,680百万円減少し、退職給付に係る負債が115百万円増加するとともに、利益剰余金が1,112百万円減少し、少数株主持分が43百万円減少しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,424	12,977
受取手形及び売掛金	43,886	35,497
たな卸資産	27,464	30,131
繰延税金資産	1,995	1,686
その他	3,119	3,252
貸倒引当金	△30	△26
流動資産合計	88,859	83,518
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,985	17,344
機械装置及び運搬具(純額)	17,175	18,022
工具、器具及び備品(純額)	1,644	1,679
土地	15,413	15,418
リース資産(純額)	405	341
建設仮勘定	3,008	1,660
有形固定資産合計	54,631	54,466
無形固定資産		
のれん	1,407	1,290
その他	1,421	1,276
無形固定資産合計	2,828	2,566
投資その他の資産		
投資有価証券	47,050	50,086
退職給付に係る資産	5,304	4,138
繰延税金資産	3,163	2,987
その他	2,514	2,884
貸倒引当金	△56	△56
投資その他の資産合計	57,976	60,041
固定資産合計	115,437	117,074
資産合計	204,297	200,592

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,757	19,242
短期借入金	32,259	32,782
未払法人税等	1,914	437
賞与引当金	3,728	1,719
その他	8,058	6,775
流動負債合計	68,718	60,955
固定負債		
長期借入金	17,701	17,006
繰延税金負債	3,023	3,378
退職給付に係る負債	2,883	2,903
その他	3,745	3,444
固定負債合計	27,353	26,732
負債合計	96,072	87,688
純資産の部		
株主資本		
資本金	29,166	29,166
資本剰余金	26,095	26,095
利益剰余金	44,174	45,619
自己株式	△644	△647
株主資本合計	98,792	100,234
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,919	4,242
繰延ヘッジ損益	△112	53
為替換算調整勘定	2,067	3,560
退職給付に係る調整累計額	△1,441	△1,301
その他の包括利益累計額合計	3,433	6,555
少数株主持分	5,999	6,114
純資産合計	108,224	112,904
負債純資産合計	204,297	200,592

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	62,405	67,050
売上原価	46,625	51,056
売上総利益	15,780	15,993
販売費及び一般管理費	13,018	13,445
営業利益	2,762	2,548
営業外収益		
受取利息	5	2
受取配当金	214	306
持分法による投資利益	1,015	2,096
その他	803	707
営業外収益合計	2,039	3,113
営業外費用		
支払利息	301	289
その他	237	316
営業外費用合計	539	606
経常利益	4,262	5,054
特別利益		
固定資産売却益	—	23
その他	—	4
特別利益合計	—	27
特別損失		
固定資産廃棄損	37	87
その他	—	3
特別損失合計	37	90
税金等調整前四半期純利益	4,225	4,991
法人税、住民税及び事業税	786	464
法人税等調整額	519	624
法人税等合計	1,306	1,088
少数株主損益調整前四半期純利益	2,918	3,903
少数株主利益	73	129
四半期純利益	2,845	3,774

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,918	3,903
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	939	1,361
繰延ヘッジ損益	△22	△15
為替換算調整勘定	467	177
退職給付に係る調整額	—	151
持分法適用会社に対する持分相当額	1,124	1,577
その他の包括利益合計	2,508	3,253
四半期包括利益	5,427	7,156
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,244	6,896
少数株主に係る四半期包括利益	182	260

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,225	4,991
減価償却費	3,111	3,138
のれん償却額	117	117
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,182	△2,008
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△132	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	△46
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	—	△514
受取利息及び受取配当金	△220	△309
支払利息	301	289
持分法による投資損益 (△は益)	△1,015	△2,096
売上債権の増減額 (△は増加)	9,218	8,399
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,564	△2,727
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,282	△3,477
その他	△1,288	△947
小計	5,287	4,808
利息及び配当金の受取額	2,299	1,017
利息の支払額	△306	△287
法人税等の支払額	△599	△2,619
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,681	2,919
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,206	△2,842
無形固定資産の取得による支出	△105	△90
投資有価証券の償還による収入	—	2,000
その他	△439	42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,751	△891
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,114	282
長期借入れによる収入	2,564	3,300
長期借入金の返済による支出	△3,830	△3,596
配当金の支払額	△908	△1,211
その他	△261	△350
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,321	△1,576
現金及び現金同等物に係る換算差額	△288	89
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	319	540
現金及び現金同等物の期首残高	14,346	12,402
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,666	12,943

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	化学品 事業	農業 化学品 事業	商社 事業	運輸倉庫 事業	建設 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	19,851	15,536	16,898	1,875	5,112	59,274	3,131	62,405	—	62,405
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7,641	17	2,170	760	1,413	12,002	1,481	13,483	△13,483	—
計	27,492	15,553	19,069	2,636	6,525	71,276	4,613	75,889	△13,483	62,405
セグメント利益	1,417	264	100	169	497	2,450	118	2,568	194	2,762

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、非鉄金属事業及び環境開発事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	化学品 事業	農業 化学品 事業	商社 事業	運輸倉庫 事業	建設 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	20,988	18,544	17,046	1,973	5,280	63,833	3,216	67,050	—	67,050
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7,850	25	2,395	783	3,740	14,796	1,785	16,581	△16,581	—
計	28,838	18,570	19,441	2,757	9,020	78,629	5,002	83,631	△16,581	67,050
セグメント利益	1,248	370	69	277	579	2,545	96	2,642	△94	2,548

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、非鉄金属事業及び環境開発事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

連結決算概要

1. 連結業績

(単位:百万円)

	26年3月期 第2四半期	27年3月期 第2四半期	増減	27年3月期 (通期予想)	増減 (対前期)
売上高	62,405	67,050	4,644	147,000	6,350
営業利益	2,762	2,548	△214	6,700	300
経常利益	4,262	5,054	791	10,700	959
四半期(当期)純利益	2,845	3,774	928	8,300	2,466

2. セグメント別 連結売上高・営業利益

(単位:百万円)

		26年3月期 第2四半期	27年3月期 第2四半期	増減
化学品事業	売上高	19,851	20,988	1,136
	営業利益	1,417	1,248	△168
農業化学品事業	売上高	15,536	18,544	3,008
	営業利益	264	370	106
商社事業	売上高	16,898	17,046	147
	営業利益	100	69	△31
運輸倉庫事業	売上高	1,875	1,973	98
	営業利益	169	277	107
建設事業	売上高	5,112	5,280	167
	営業利益	497	579	81
その他	売上高	3,131	3,216	84
	営業利益	118	96	△21
合計	売上高	62,405	67,050	4,644
	営業利益	2,762	2,548	△214

3. 主要指標

	26年3月期 第2四半期	27年3月期 第2四半期	増減
為替レート(円/\$)	98.6	103.1	4.5
設備投資額(百万円)	3,021	4,221	1,200
減価償却費(百万円)	3,111	3,138	27
研究開発費(百万円)	2,732	2,790	58
1株当たり四半期純利益(円)	18.71	24.83	6.12
総資産(百万円)	190,796	200,592	9,795